

第 36 回日ロ極東学術シンポジウムのご案内

秋の気配が感じられる季節となりました。皆様にはお元気でご活躍のことと存じます。さて、1984 年以来、ロシア科学アカデミー極東支部を中心とする研究者や実務家との間で続けてきました日ロ極東学術シンポジウムは、2019 年の第 35 回を最後にコロナ禍や「特別軍事作戦」発生に伴う困難等により休止しておりましたが、このたび 6 年ぶりに第 36 回を開催することといたしました。

「特別軍事作戦」の開始後日ロ間の関係は大きく変わり、極めて不安定な状態が続いています。

このシンポジウムでは、変化しつつある地域に身をおきつつ、日ロ関係を含めて、東北アジアの政治・経済・社会に関わる諸問題をグローバルな視点から検討したいと考えています。

今回のシンポジウムには、ウラジオストクに本部をおくロシア科学アカデミー極東支部の歴史・考古学・民族学研究所、ハバロフスクの経済研究所のメンバーを迎えます。

これまでのシンポジウムと同様に、率直な意見交換を行いたいと考えています。ご多忙とは存じますが、ぜひご参加いただきますようご案内申し上げます。

2025 年 10 月

日ロ極東学術交流会

シンポジウム参加費（資料代を含む）：1,000 円 懇親会費：5,000 円

[連絡先] 日ロ極東学術交流会事務局

615-8558 京都市右京区西院笠目町 6 京都外国語大学 五十嵐徳子研究室気付

e-mail: n_igaras@kufs.ac.jp または k.kumo@r.hit-u.ac.jp

出席のご返事はメールで、懇親会出席の有無もご記入の上、11 月 26 日までお願いします。

第36回日ロ極東学術シンポジウム・プログラム

日時：2025年12月13日（土）

場所：大阪大学箕面キャンパス「中講義室」（大阪地下鉄箕面船場阪大前）

時間：10:00～17:00

主催：日ロ極東学術交流会

共催：大阪大学外国語学部ロシア語専攻・大阪日ロ協会・京都外国語大学外国語学部ロシア語学科・一橋大学経済研究所ロシア研究センター

12月13日（土）

司会：ラーリン・V.L.（ロシア科学アカデミー極東支部・歴史・考古学・民族学研究所）
ほか

1. イサエフ・A.G. 「ロシア東部地域開発政策：現状と展望」
（ロシア科学アカデミー極東支部・経済研究所）
2. マジトワ・M.G. 「日露貿易経済関係：新たな現実」
（ロシア科学アカデミー極東支部・経済研究所）
3. バルダル A.B. 「ロシア東部の交通網：国際関係の発展の見通し」
（ロシア科学アカデミー極東支部・経済研究所）
4. ラリナ L.L. 「現代ロシアの若者の価値観について（2025年にウラジオストクの学生を対象に行ったアンケートの結果に基づく）」
（ロシア科学アカデミー極東支部・歴史・考古学・民族学研究所）
5. クラディン・N.N. 「考古学および人類学分野における日露共同研究」
（ロシア科学アカデミー極東支部・歴史・考古学・民族学研究所）
6. ポズニャク・T.Z. 「19世紀末から20世紀初頭のウラジオストクにおける日本人」
（ロシア科学アカデミー極東支部・歴史・考古学・民族学研究所）

討論予定者：五十嵐徳子氏（京都外国語大学）、藤原克美氏（大阪大学）、須佐多恵氏（大阪大学）、道上真有氏（新潟大学）、雲和広氏（一橋大学）ほか

懇 親 会

18:00～

報告の順序および討論者が変更になる場合があります。